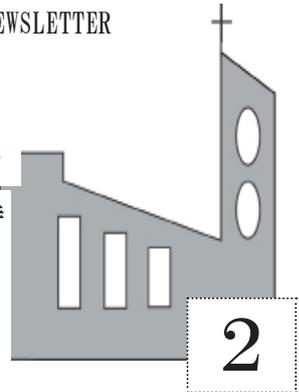


カトリック大名町教会ニュース

DAIMYOUMACHI CATHOLIC CHURCH NEWSLETTER



〔ミサ時間〕 主日：7時・9時30分/ベトナム語（第2・第4日曜日）：13時半/英語：16時
 〔ホームページ〕 <http://www.daimyomachi-c.or.jp/>
 〒810-0041 福岡市中央区大名2-7-7〔巡〕能古島カトリック教会 ミサ（土）18時
 Tel: 092-741-3687 Fax:741-5107 〒819-0012 西区能古弁当 1621-12
 発行責任者：中村 彰 神父

2月5日 日本26聖人殉教者 11日 世界病者の日

福岡教区年間目標：互いに支え合う「交わりの教会」となる

大名町教会年間テーマ：互いに支え合う「交わりの教会」となる

Becoming a "Church of communion" and mutual support

2月・3月のお知らせ

- ◆2日（日）ヨゼフ会例会（9時30分ミサ後）
- ◆5日（水）日本26聖人殉教者の日
- ◆7日（金）スープの会・調理と炊き出し
～3月2週まで（3ページ参照）
- ◆9日（日）ミサと講演会
・9時30分ミサ 中井 淳 神父（イエズス会）
・講演「社会教説」
（主催・福岡教区社会福音化委員会）

3月のお知らせ

- ◆2日（日）堅信式（アペイヤ司教司式）
- ◆5日（水）灰の水曜日（10時、19時）
- ◆9日（日）四旬節第1主日・洗礼志願式
- ◆四旬節黙想会
指導司祭：牧山 強美 神父
（サンスルピス司祭会）
- ・29日（土）10時 講話、19時
ミサと講話（講話内容同じ）
- ・30日（日）7時 ミサ
9時 ミサと講話

1月12日（日）喜びの成人式を迎えて



*成人おめでとうございます。神様のお恵みをお祈りします。成人・新年の祝賀会を教会共同体みんなでお祝いました。

希望は欺かない



福岡教区創立
100周年開幕
2025-2027



◆中村 彰 神父：キリスト教入門講座
木曜日：10時 19時

聖書学習会

◆チュエン神父：聖書のわかちあい
木曜日：14時

ゆるしの秘跡：希望される方は、司祭に直接ご相談ください。（定期：毎週土曜日10時～11時半）

祖先と祖父母、父母を敬う日

日本では1月に正月があります。日本人たちは、きっと楽しい新年を迎えたことでしょう。ベトナム人は、1月の終わりから2月の初めにかけてベトナムの正月（テト）を迎えます。

ベトナムのカトリックでは、「祖先と祖父母、父母を敬う日」という特別な日があります。毎年、旧暦の1月2日がその日です。ベトナムのカトリック典礼暦にも記されています。カトリック信徒にとって伝統的な日です。すべての教会でミサが行われます。この日のための典礼文、朗読、福音があります（Hc41:10-15・Ep 6:1-4,18-23・Mt15:1-6）神の言葉を読むことができます。朝、みんなで集まり、ミサを捧げます。神の言葉、祈り、説教は孝行心に焦点を当てています。

ベトナム人は次の格言をよく知っています。「父の恩はタイシヤン山のように重く、母の恩は源から流れる水のように深い。父を敬い、母を敬うことは孝行の道である」。ミサの後、墓地や納骨堂に行き、先祖や祖父母、亡くなった家族のために祈りをします。その後も各自でお墓参りを続けます。ベトナム人として、特にカトリック信徒にとつての孝行の美しさは本当に素晴らしいものです。この行事は、子供たちが先祖や祖父母、両親への深い感情をもち、育み、呼び起こす手助けをします。私たちの大名町教会でも、このミサを1月30日19時30分から行いました。

大名町教会協力司祭
ファムバン チュエン 神父

2025 聖年 成人の祝いと大名町教会共同体の新年会

1月12日(日)9時半のミサの中で、新成人の祝福式がありました。二十歳を迎えた石原瑞樹さん、北島詩音さん、松崎翔真さんの三人のお祝いでした。



祝福のことばをいただく新成人の3人

中村彰神父に祝福された三人は「教会のみなさんのおかげで大きくなった。これから教会の一員として頑張る」「青年会の一員として頑張る」「教会共同体の一員として、清く正しく生きていきたい」と信徒のみなさんへの感謝と抱負を語りました。ミサのあと1階講堂で「新成人と新年の祝い」。中村神父は参加者全員に「人生には成人式、新年などいろいろの節があり、大事にしたい。これまで生きたことに感謝すること、新しい決意をする」と。今年



は聖年、希望の巡礼者としていきましよう。丁寧な暮らし、一人ひとりを大切にしていましよう。」と祝辞と挨拶を述べました。

北島詩音さんにお祝いの言葉を述べた信徒の船越清子さんは、詩音さんのおばあさんの知人。聖書研究会に幼い詩音さんがおばあさんと一緒に来たこと、絵本を見ていたかわいかった詩音さんの成長に喜びを語りました。

松崎翔真さんと教会学校で関わった久志昇さんは、自分が翔真君に遊んでもらったと懐かしく語りました。

石原瑞樹さんに荒牧結花さんは、瑞樹さんは中・高生を支え、青年会で活躍していること、これからも期待したいと述べました。

新年にあたり、今年の抱負として三人の方が話しました。広島教区へ異動し里帰りの青年会で活躍していた林田明日香さんは「広島でも青年会で頑張っている」と。三浦晃代さんは新成人に「成人されて嬉しい。若い力を発揮してほしい」と。梶原宏さんは、長い闘病生活の体験で、奥様がマリア様に必死で祈ったことを紹介し、今年のモットーは「生きる、清く正しく美しく」と語りました。

続いて教会学校の子どもたちとスタップが「アロハ・エ・コモ・マイ」



のダンス披露「こんにちは」「ようこそ」の意味があり、すべての子どもたちに「教会学校に来てください」の願いを込めて踊りました。

濱崎公夫さんのギター演奏に合わせて「やさしい目が」「恵みは主から」を全員で歌いました。

最後に吉田俊雄委員長の「聖年の扉が開かれた。自分の中の扉を開いて出て行く。教会はイエス様を監督とするチーム。大名町教会もチームとなつて、神の国をめざしていきたい」との力強い言葉で閉会しました。

参加者約100人。寿司、サンドイッチ、オードブルは、子どもたちも大人も人気があり、喜んで食べました。

新年早々からの打ち合わせ、食べもの注文、買いもの、当日早朝からの祝賀会の準備、祝賀会後の片付けまで、多くの人が奉仕する姿がありました。



聖年の活動検討委員会が開かれる

2025年、今年通常聖年です。大名町教会共同体として、「聖年」の意味と理解を共有し具体的な活動を検討する委員会を、中村神父と宣教師・司牧評議会の信徒会長、副会長、宣教師・広報の各委員と青年会代表等とで立ち上げました。

1月18日(土)に第一回の話し合いが開かれました。



- 決定事項**
- ・ 免償を受けるための手順を整理して信徒に周知する。
 - ・ 共同回心式を行う。
 - ・ さらに次の内容を検討します。
 - ・ 外国語ミサグループとの共同ミサと夏祭り
 - ・ 教区指定の巡礼教会への巡礼
 - ・ 「典礼の学び」の継続
 - ・ 聖歌「希望の巡礼者」の練習
 - ・ 「聖年の祈り」(日本語、英語、ベトナム語)のカード作り
 - ・ シノドスの実践の継続(中村神父の講話と分かち合い・年5〜6回実施)
 - ・ 青年たちの教区・地区の活動への参加を支援
 - ・ 青年たちが集える時間・場所の確保など、実施に向けて具体的に検討していきます。

— キリスト教一致祈禱会 —

「あなたはこのことを信じますか」(Jo.11・26)



共同司式にのぞむ4つの宗派の神父、牧師の方々

1月19日(日) 18時から
大名町教会で「キリスト教

一致祈禱会」が行われました。中村

典礼に学ぶ…
神のことば

1月26日(日) 9時半のミサの後、第5回「典礼の学び」の集いが開かれた。講師は深堀純氏。テーマは当日の「神のことばの主日」に合わせて「神のことば」。大名町教会宣教司牧委員会典礼部主催。講話の要旨は次の通り。

教皇フランシスコは、2019年「神のことばの主日」を制定した書簡の中で、「聖書は信仰と生きる力の源泉です」と言っている。神のことばは教えをのべ、指針を示すだけでなく、人を慰め力づけ、そして生かす。イエスは、一人息子を亡くした母親を「見て、憐れに思い、近づいて、

彰神父を主司式者として、カトリックを含めて4つの宗派の司祭・牧師が共同司式をし、一致へのとりなしの祈りが五つの宗派の信徒によって行われました。参加者は約80名。

テーマは「あなたはこのことを信じますか(ヨハネ11・26)」。ラザロの姉妹マルタに「生きていて、私を信じる者はみな、永遠に死ぬことはない。このことをあなたは信じるか」と問いかけたイエス様の言葉です。

福音書の朗読は、トマスにイエス様が「見ないのに信じる人は幸いです。」(ヨハネ20・24、29)と語られた箇所でした。

説教を担当した塚本吉興牧師(日本基督教団福岡中部教会)は、「キリストを伝えることが大事」と言って

棺に触れる。息子は生き返り新たな歩み始める。

イエスも言うように、「人はパンだけではなく、神の口から出るすべてのことばによって生きる」(マタイ4・4)。わたしたちも、ミサにあずかってキリストの御からだをいただいて、生かされるように、神のことばを聞いて、教えられ、慰められ、生きるものとなる。聖体とみことば、この二つは等しくわたしたちの「いのちの糧」である。秘跡やミサの典礼において、この二つは決して切り離されない。秘跡が行われるとき、しるしの意味がかならず聖書から示され、それを信じる者に恵みが注がれる。ミサにおいては、キリストのいのちが聖体の食卓・祭壇から供さ

プロテスタントの牧師の自分をカトリック学校に採用したブラザーに感謝の言葉を述べ、カトリック信仰から多くのことを学んだと話しました。「普段は各教派で礼拝しているが、

共に集まり、祈ることができることに感謝します。キリストを礼拝し述べ伝えることができること、このことを信じますか、が、いま問われています」と語りました。

祈禱会では、それぞれの宗派から選ばれた四つの聖歌も歌われました。

大名町教会信徒の濱辺敏樹さんがとりなしの祈りを唱え、平田孝子さんが、パイプオルガンで聖歌の伴奏をしました。キリストの愛を述べ伝え、一致の希望をもつことができる祈禱会でした。

れ、みことばの食卓・朗読台から福音が告げられて、わたしたちを生かしてください。朗読者の口を通して神ご自身が語り、福音朗読でキリストご自身が良きおとずれを告げてくださる。その主を「アレルヤ」を歌って迎えて、福音に耳を傾けるとき、主は言われる。「この聖書のことばは、今日あなたがたが耳にしたとき実現した」(ルカ4・21)と。

教皇フランシスコは、ことあるごとくに「毎日聖書を読んでください。数節だけでも」と呼びかけている。

参加者の声「毎日少しずつでも聖書を読み続けます」「神様がいかにかわしたちをいつくしみ、愛されているかを聖書で味わいたい」「今後ともこのような講話を続けてほしい」。

大名町教会アクション団体お知らせ

◇教会学校(主日のミサ後)

・堅信クラス…3月2日の堅信式に向けての勉強

・他のクラス…主日ミサの福音についての学びや「こじか」(オリエンス宗教研究所)での勉強

◇青年会(教区青年会)

「カタラント」の開館時間

・月曜日 10時～17時(祝日除く)

・木曜日 18時30分～21時

・土曜日 14時～18時

〈担当司祭かスタッフが常駐していません。青年のみなさん来てください。〉

◇ヨゼフ会

・毎月第一主日のミサ後 例会

◇ふれあいの会

・毎月第三主日のミサ後(8月を除く)

・「祈り」と「分かち合い」

スーアの会「越冬炊き出し」

☆約40年前に始まった「炊き出し」を今年も始めます。

◇2月7日～3月14日までの金曜日
◇「調理ボランティア」と「夜回りボランティア」

○調理ボランティア 14時～1F厨房

○夜回りボランティア 1F講堂から

・初参加者レクチャー 19時

・夜回り準備(袋詰め) 20時

・各コースへ編成決め 20時30分

・各コース夜回り出発 21時

お手伝いをしていただける方を募集しています。お力をお貸しください。

宣教司牧評議会

(1月19日)

◆議題

- 1 マリア像後ろのバラの植栽
・ヨゼフ会での維持、管理について意見を聞き判断
 - 2 AEDの導入について
・頻度、訓練、金額等から現段階では導入を見合わせ
 - 3 2025年度教区申請予算案の承認、各部の来期計画に着手
 - 4 4月以降の新規事務職員の募集
 - 5 「Live! Together 大濠の集い」の準備会(委員5人が大名町教会信徒)のため信徒会館の土曜日使用の承認
- ◆報告事項
- 1 各委員会報告
 - (1) 新しい駐車場利用規定の運用
・2025年4月からの実施を目指してスケジュール化
 - (2) カテドラル・センター使用規定
・一部修正のうえ承認。
信徒会館の使用規定は別途作成
*聖年準備検討委員会
・聖年を豊かに過ごすための計画について報告
 - ① 免償を受けるための内容や手順を整理して信徒に説明
 - ② 巡礼委員会で教区指定巡礼教会への巡礼を企画し、全信徒に呼び掛け
 - ③ 外国語ミサグループと合同のミサおよび夏祭りの企画等
 - 2 各部活動報告
 - (1) 典礼部

・降誕祭ミサについての振り返り

ミサ参加人数

24日(火) 19時 | 約650名

25日(水) 10時 | 約150名

25日(水) 10時 | 約210名

(2) 美化部

・12月の大掃除 合計40名程度の協力

(3) 行事部

・新年会&新成人祝賀会参加者は約100名

・新成人対象者12名中参加者は3名

(4) 営繕部

・「高圧ケーブル更新、高圧交流気中開閉器(PAS)移設」工事の日程説明

・故障修理の報告 信徒室のエアコン故障

・小聖堂音響設備故障(修理済み)

・大聖堂3階長椅子の不具合

(5) 施設管理部

・消防および消防設備点検時の不備事項について改善必要項目を営繕部と相談して実施

(6) 財務部

① クリスマス特別献金

(-) は参加人数

* 24日 夜半日本語ミサ 221175円 (800人)

* 25日 日中日本語ミサ 57616円 (210人)

25日 英語ミサ 89898円 (200人)

25日 ベトナム語ミサ 62236円 (300人)

* 特別献金封筒 337430円

合計 768335円

※特別献金から 美野島司牧センター

とベトナム水害支援として各10万円を寄付

② メールボックスの整理

2月末までに実施

(7) その他

① 2月9日 中井淳神父司式ミサと「社会教説」講演会

② 3月2日 堅信式

③ 3月9日 洗礼志願式

④ 3月29日、30日 四旬節黙想会 指導 牧山強美神父(旧カトリック神学院)

大名町教会の現勢 1月

【幼児洗礼】おめでとう!(ご両親)

・アンナ 石井 裕菜(ゆな)

・(トヒヨン) ミン ファンシク

石井 里美)

【帰天】永遠の安息をお祈りします

1月10日

・マリア 高田 令子

駐車場利用のお願いです。

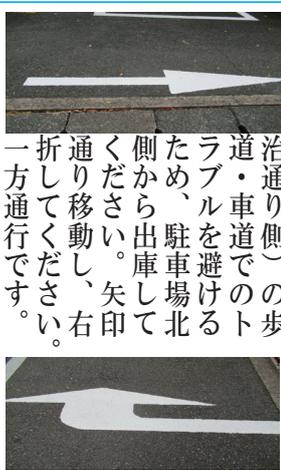
主日の9時半のミサに車で来られた方は、ミサ後、早めの車の移動をお願いします。午後からの外国語ミサ参加者のために長時間の駐車はご遠慮ください。

また、出庫は教会駐車場南側(明治通り側)の歩道・車道でのト

ラブルを避けるため、駐車場北側から出庫して

ください。矢印通り移動し、右

折していただき、一方通行です。



2月5日 日本26聖人殉教者

2月が近づくと考え込んでしまう事があります。日本26聖人が歩いた道についてです。それは、26聖人が博多から唐津の山本まで歩かれた道のうち、現在の福岡市内にあたる部分が、巡礼ガイドマップで紹介されている道とだいぶ違うということです。巡礼マップでは、安全で歩きやすいコースが選定されていますが、1600年以前、現在の天神付近から西へ続く唐津街道は未整備でしたから、本当のところ26聖人はどこを歩いたのか。

当時は太閤道(たいこうみち)と呼ばれる道が肥前名護屋へ伸びており、26聖人はその道を歩いたと推測されます。博多で一泊した26聖人は住吉神社の近くで那珂川を渡り、現在の城南線に近い道を歩き、六本松付近から別府を経由、原四つ角付近まで進み、原から小田部に向けて北上、室見川をどこかで渡って愛宕山の南に到達、山門村を経て生の松原、長垂山の山中に進み、現在の今宿青木あたりに出て周船寺方面へと向かったと考えるのが自然なようです。(筑前国続風土記・著者 貝原益軒) 彼らが太閤道を通ったとすると、その一日の行程は(58k)、長崎への旅の中で、最も長い一日になるようです。(結城了悟神父著 豊前筑前福岡路より)



2月5日、26聖人殉教記念日。今年も、もう少し何か手がかりを探してみようと思っています。ベルナデッタ 荒牧 りえ